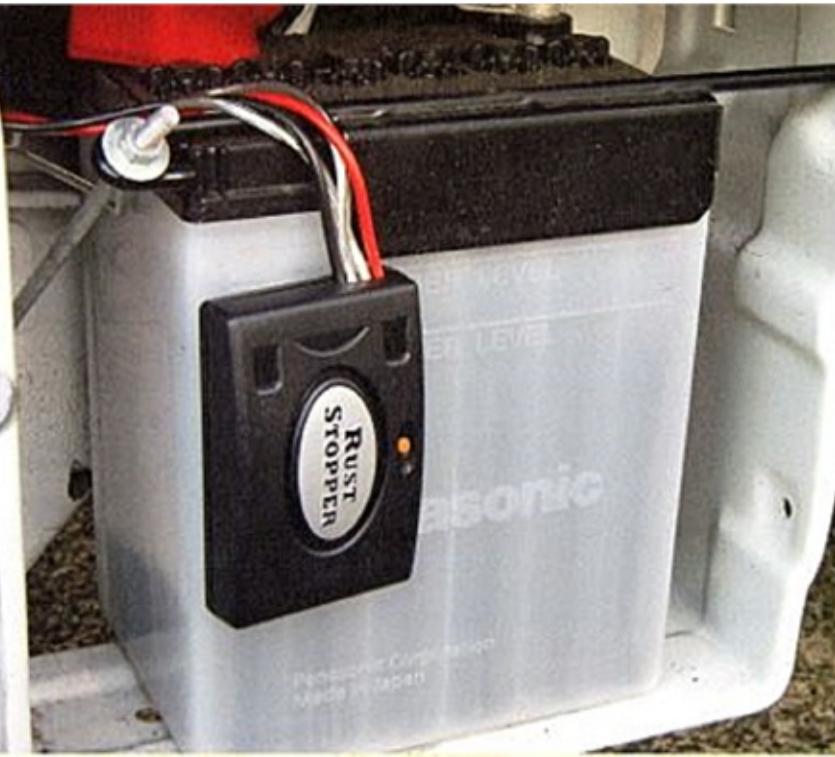




取り付けはバッテリーの+と-に赤・黒の配線をつなぎ、他のパルス線をボディアースするように接続するだけ。本体は付属のマジックテープで取り付ける。今回は海沿いなので塗装が剥離しやすいので、電力が低下すれば自動的に停止するので安心。

本体はタバコの箱くらいの大きさで、薄型だから装着スペースも確保しやすい。電力が低下すれば自動的に停止するので安心。



●機能: 12ボルト全車種対応、作動認証用LEDランプ付、オートプロテクト機能付、防水タイプ



電子作用でボディ全体をガードしてくれるから、下まわりなどサビに気付きにくい場所も心配なし。もちろん防水タイプだ。銀色の線はボディ下をはわせて、付属のタイラップでとめた。

日本の自動車平均寿命が短いのは環境が要因 サビ防止対策は必須!



実際日本の自動車平均寿命は欧米などに比べて、洗車好きであるにも関わらず、短いという調査結果が。これは日本特有の厳しい環境のせいで、繊石でこすった下まわりやジャッキポイントなどのちょっとしたキズから、ボディへと腐食が広がりやすくなることも要因のひとつ。小さなサビがあつて広がる。

To-FiT ラストストッパー 電子式サビ防止装置

国ツーフィット ☎ 045-253-7945 <http://www.to-fit.co.jp>

取付簡単。あなたの軽トラをサビから守る!

潮風や融雪剤が原因の塩害に酸性雨、PM2.5に鉄粉、台風や梅雨……。日本の環境は実はクルマのボディにとって過酷。ゆえに放っておけば、見えない場所からいつの間にかボディが腐食してサビついてしまう、なんていうケースも珍しくはない。そんな愛車の大敵であるサビを、バッテリーにつないでおくだけで防止してくれるのがこの電子式サビ防止装置、ラストストッパーだ。実はこれ歐

米では、昔から塩漬けたやパイプラインなどで用いられている、電位差を利用して金属の酸化を抑制するという理論を応用したもので、ついでおくだけでこの電子作用が働くから、ボディ全体がサビにくくなるというスグレモノ。電気障害やバッテリー上がりへの対策も万全。板金塗装より、何より価格がリーズナブルな魅力。海沿いや降雪地帯などで働く軽トラには、絶対の必需品だ。



見た目キレイな軽トラも サビは始まっている

こんなにきれいな軽トラも下まわりのサビが始まっている。荷台の荷物の積み下ろしによる塗装のハガレやシャーシやボディの継ぎ目のサビ、最初はどれも小さいものなのだ。



サビは水と乾燥でどんどん広がる

サビの実験写真

サビの広がりを比較する実験を行った。定期的に海水をスプレーしたところ、写真のような違いに。サビの進行の早さをあらためて知ることができた。



荷台の塗装のサビ



シャーシの継ぎ目のサビ